

令和6年9月

令和6年度9月補正予算案

補正後予算

5,327 億円

9月補正予算額（一般会計）

87 億円

通常補正分

11 億円

財政的な補正

76 億円

(主なもの)

- ・決算剰余金の積立て : 48 億円
- ・国庫返納金 : 28 億円

佐賀県立大学 設置に向けて

これまでの経過

R5. 2 「県立大学の基本的な考え方」を公表

R5. 9 「基本構想(素案)」を公表

R6. 1 「基本構想」を策定

専門家チーム設置

具体化プログラムスタート

R6. 6 教育方針の基本的な考え方(案)
施設機能の考え方(案)

R6. 7.23 設置場所の発表

佐賀総合庁舎敷地内

本日

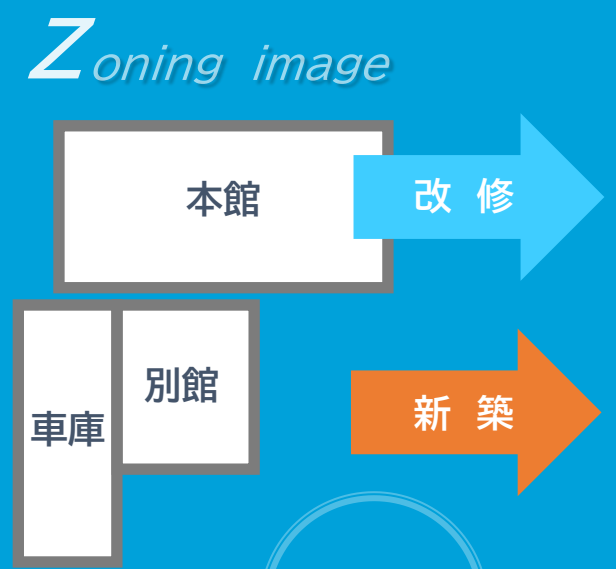
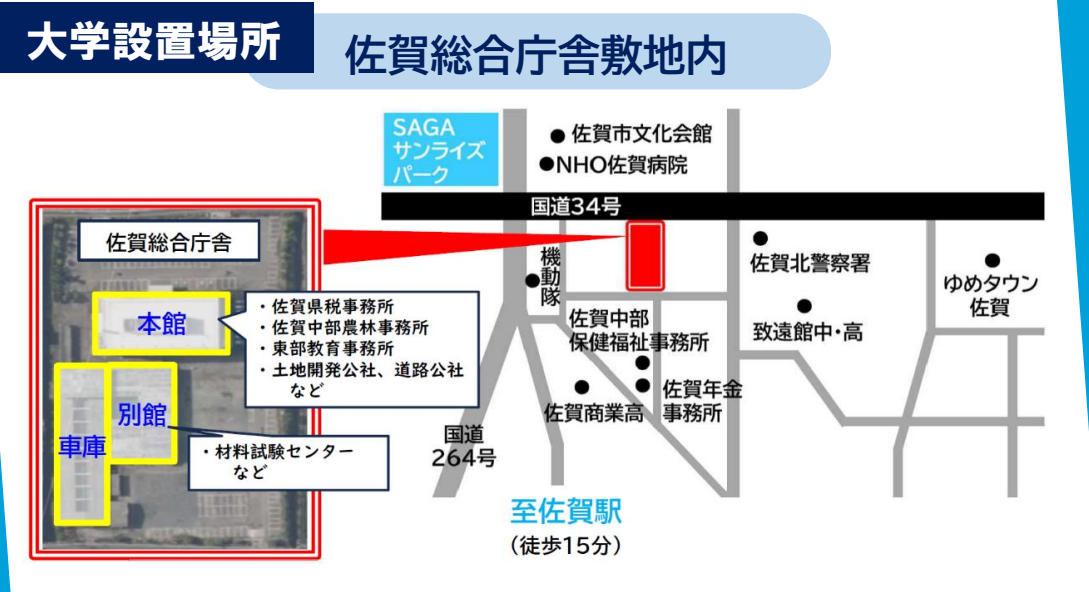
関連予算案の発表



佐賀県立大学 設置に向けて

～新しい時代をひらく学びを、SAGAから～

500万円 + 債務負担行為 6.6億円



オープンスペース等により、街と大学のつながりを生み出す空間づくりを行う

「施設機能の考え方」を具現化

- ### 施設整備の目指すところ Vision
- 学生の主体的な学びを重視
 - カリキュラムや授業形態に合わせた弾力的な運用
 - 県全体を学びのフィールドとし、地域との接点を多くもつ



今回予算化

設計業務等経費

- 設計者の選定 500万円
- 既存建物改修設計
新校舎新築設計 等 6.6億円

— SCHEDULE —

- R6～8年度 設計業務等
- R9年度～ 改修、新築工事
- R11年4月 開学(改修校舎利用開始)
- R12年4月 新築校舎利用開始

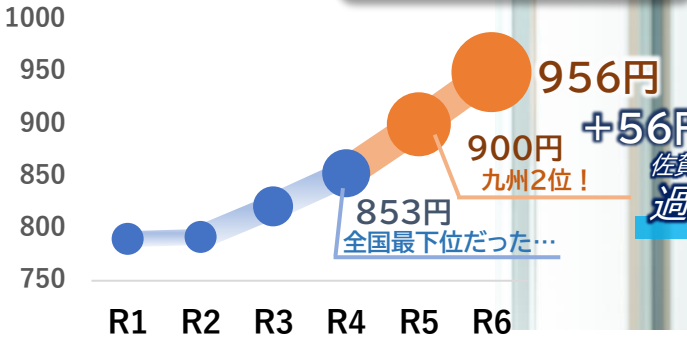
2億円

中小企業の賃金UPと成長の実現

佐賀の最低賃金

956円に

※ R6.8.20佐賀地方最低賃金審議会



2年連続!

福岡に次ぐ九州 2位

目安額 +6円九州 1位 タイ

佐賀	福岡	山口	...	神奈川	東京
956円	992円	979円	...	1,162円	1,163円

36円 昨年から差が5円縮小

1円 都市部との賃金格差は依然大きい

持続的な賃上げへ 佐賀県は企業の生産性向上を支援してきた

佐賀型賃金UPプロジェクト

～事業者の声～



- システム導入で生産性が上がった
- コスト削減分は賃金に還元できた
- 人材確保につなげたい

さらに今回 第3弾!

中小企業向け支援

- 生産性向上の取組に対し支援
- 中小企業 50万円～200万円
 - 小規模法人 30万円～120万円
 - 小規模個人 15万円～60万円

補助率 2/3

取組例



要件 事業場内最低賃金の5%以上の賃上げ

従業員がいない事業者向け

- 生産性向上の取組に対し支援
- 法人 30万円～120万円
 - 個人 15万円～60万円

補助率 2/3



要件 粗利益額の3%以上の減少など

生産性向上により

※いずれも伝統的地場産品製造事業者等は補助率3/4

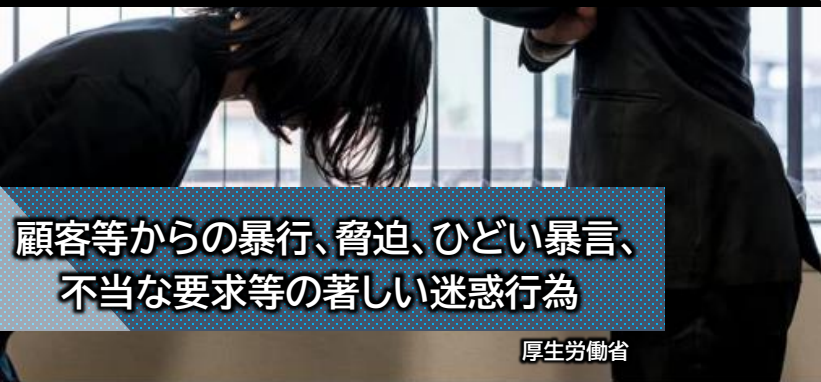


豊かさの連鎖へ

新規 企業の カスハラ対策 を支援

500万円

カスタマーハラスメント



顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、
不当な要求等の著しい迷惑行為

厚生労働省

全国調査(UAセンセン調べ)

流通・サービス業で
カスハラを
受けた労働者

約 5割

労働者が安心して働ける職場に



を目指すプロジェクト

企業が従業員を守る

企業の対応力向上を支援

セミナー

個別相談会



- ・組織対応のためのマニュアル作成支援
- ・被害にあった労働者のメンタルケアのアドバイス

県内5か所で実施

県内企業でも問題に

労働者

大声で威嚇される

過度な要求を長時間に渡り、
求められる

カスハラの対応に
困っている

雇用主

従業員を守るため、
対応方法を学びたい

本来

企業の成長につながるもの

消費者の声

度を過ぎると

人を傷つけ、人材定着に影響も

消費者への意識啓発

カスハラへの理解を広める

出前講座

イベントでの周知



- ・カスハラの問題点
- ・適切な意見の伝え方などの広報展開

お互いを尊重し合う社会を目指して

新規

在住外国人の日本語力向上を支援

400万円

時代と共に、外国人との関わりは変化



今回、

多文化共生の推進

第1弾

外国人の日本語研修

在住外国人の声



職場や地域で
コミュニケーションを深めたい

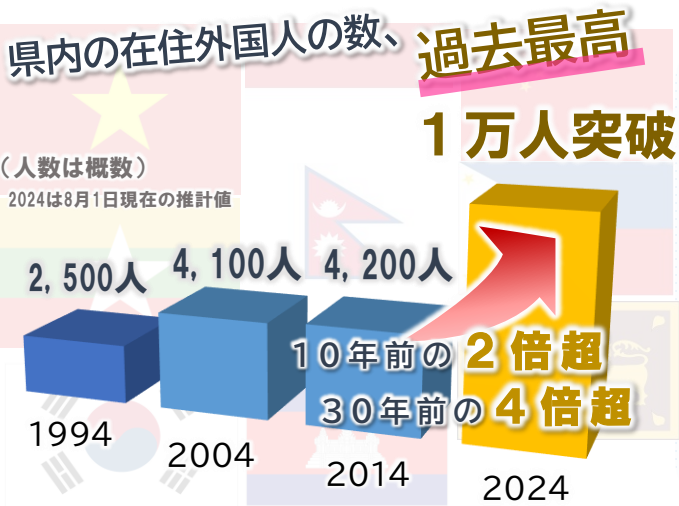
県内企業と協力して



日本語力向上の研修

補助上限: 20万円

補助率
1/2



外国人に選ばれる佐賀、



外国人も心地よく暮らせる佐賀に

SSP構想の新たなチャレンジ

設計費 (**400**万円) + 債務負担行為 **1,700**万円)



今回新たに発表 同じ敷地に、

「スポーツ医科学施設」を整備



しかも

賃料収入はグラウンドの維持管理費等に充てる



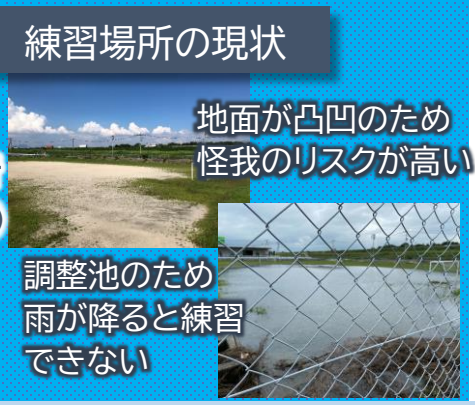
アスリートに収益が還元

スポーツ医科学の県内普及



SSP構想のモデル施設に

- SCHEDULE -
- 施設の設計 (R6~7年度)
- 整備工事 (R7年度中)
- R8年度~ OPEN(予定)



新規

障害のある方などに **新たな体験** をして欲しい

400万円

様々な福祉の現場を訪れ



一人一人に寄り添い

想いを聴いてきた

障害者スポーツの現場では



参加したアスリートの感動に触れ、外に出るきっかけの大切さを感じた

福祉医療の関係者との懇談会でも



ずっと家に籠もっているとネガティブになってしまう。外に出かけるきっかけづくりができないか・・・との声を聴いた

そこで

障害のある方やひきこもりの状態にある方などに

SAGAアリーナでプロスポーツ観戦等！ **600名**程度



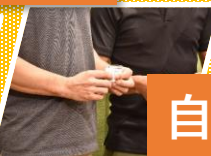
ご本人 & ご家族、支援者も一緒に！



“さがすたいる”



みんなが心地よく、



自分らしく過ごせる佐賀県に

佐賀から世界へ 海洋プラ問題の解決に向け キックオフ！

1,000万円

世界初！ World Ocean Plastic Center

世界海洋プラスチックセンター（仮称）

“波戸岬エリア”での設置に向け

着々と進行中！

現在、設計中

R7年度 造成・建築

R8年度 OPEN！
(予定)



今回予算化



世界に向けて発信

国際シンポジウム の開催

R7.2月頃、国内外の研究者、政府機関職員等が唐津に集う

いまこの時も海洋プラ問題は進んでいる



2050年

海洋へのプラスチック流出の累積が、
海洋の魚の量より多くなる との試算も…



今、佐賀が 動き出す！



佐賀の岬から

世界の海を取り戻そう